



双子鶴

鶴丸 国永

×

鶴丸 国永

Toukenranbu
Fanbook #6

一振の刀から2人の付喪神なんて
驚きだろ？

人の子で言う双子みたいなものかな？
まあ俺たちも驚いたかな





双子鶴

×

鶴丸 国永

鶴丸 国永

Toukenranbu
Fanbook #6

一振の刀から2人の付喪神なんて
驚きだろ？

人の子で言う双子みたいなものか？
まあ俺たちも驚いたかな

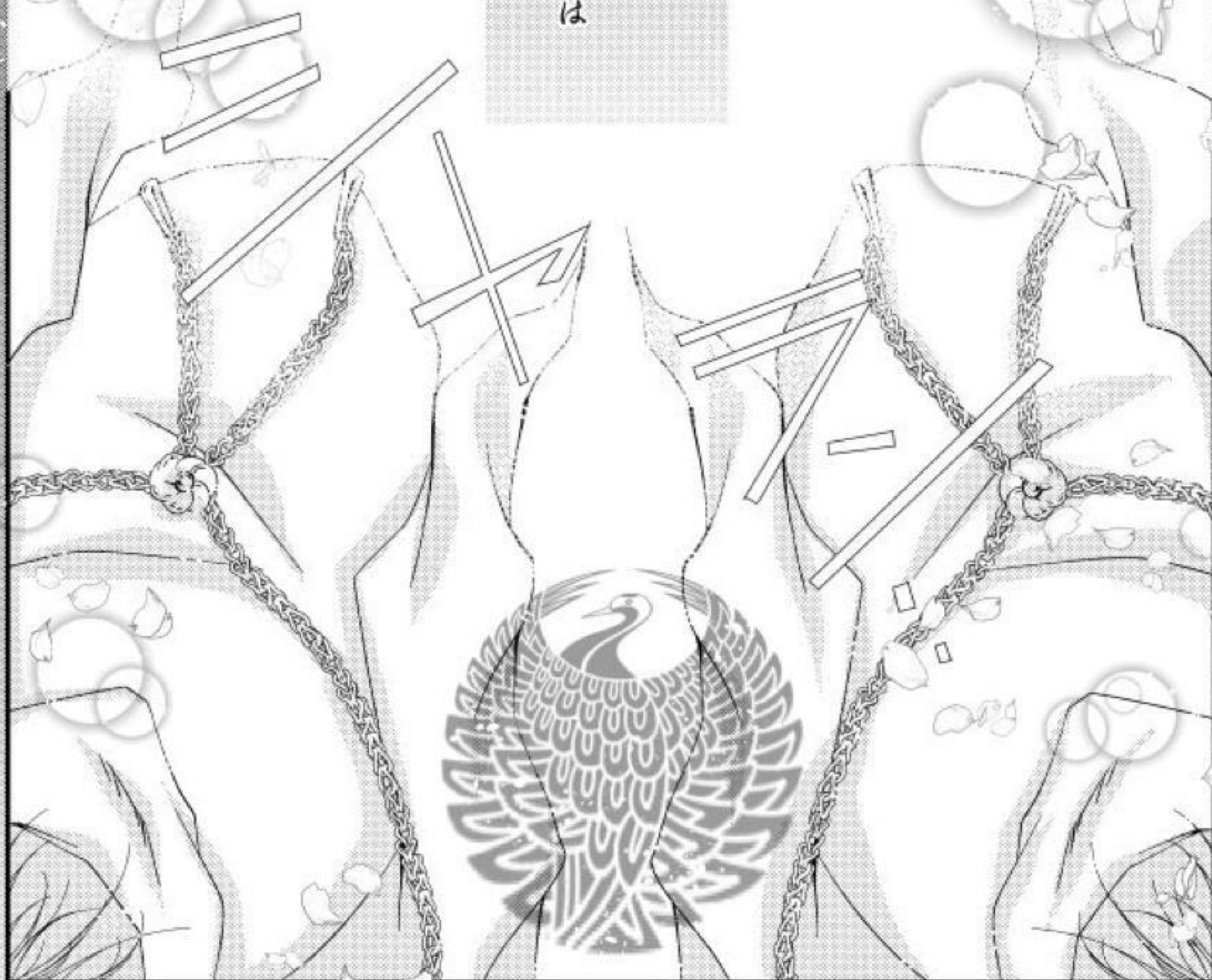


※注意事項

オリジナル設定あり。

原作会社様および関連会社様とは一切関係御座いません。
性的表現が含まれますので18歳未満の閲覧を禁じます。

西暦二二〇五年
とある本丸にて
顕現した刀剣男士は





ほう…
これは中々に
驚きだな

原因不明の現象により
一振の白き太刀に
宿りし魂は分裂



ああ
全くだ



片方は鞘
また片方は刃を
己の本体とし



双方
片目に赤目を
持ち合わせる

『よ！鶴丸 国永だ！』



俺たちみたいなのが来て
驚いたか？

特異であつた



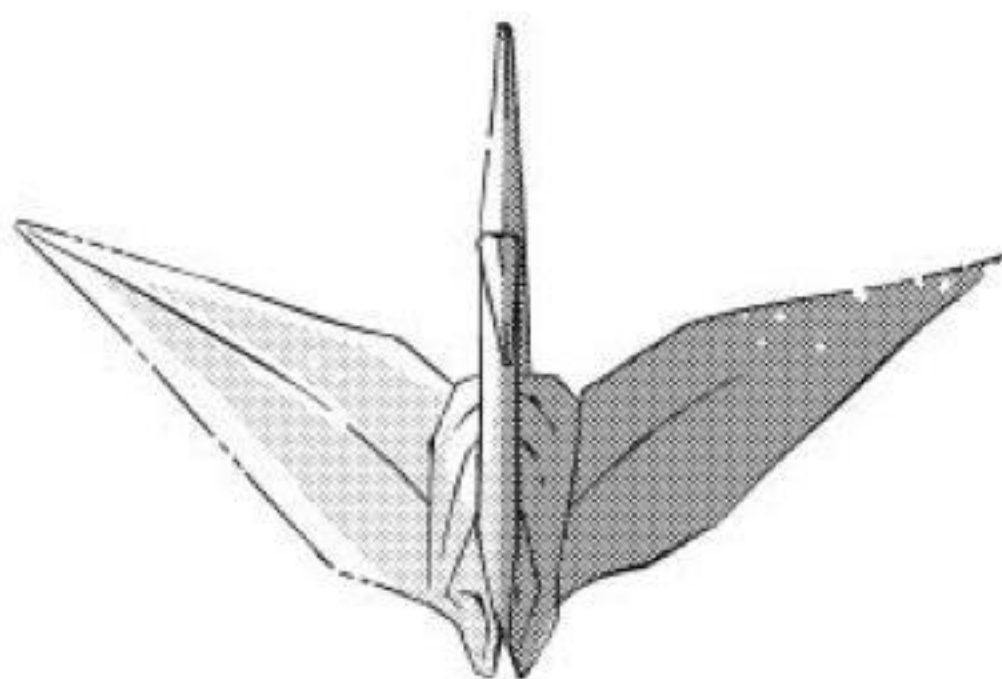
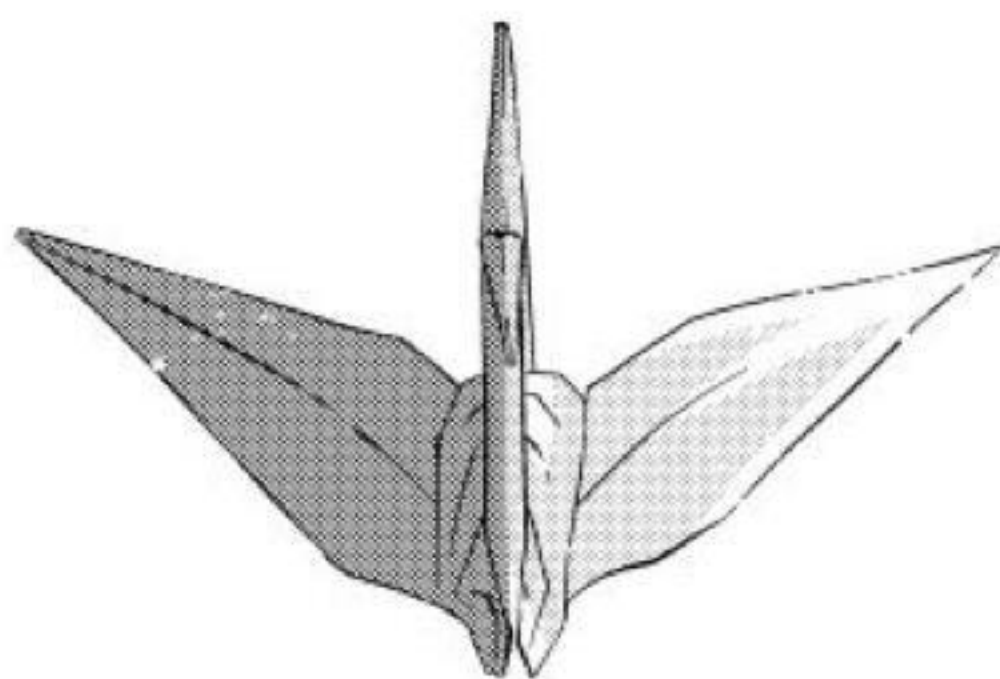
双子鶴



国永



鶴丸







何かあったら
いつでも頼ってくれよ

ああ!!

俺たちの片目は
顕現時から
視力がほぼ無く

バグの影響の一つだと
主が言っていた

一振の刀から
2人顕現したという
事例は数件あるが

俺たちのような
ケースは無く
政府から一目置かれた
存在でもあった

「双子鶴」という
愛称で呼ばれることも
今や日常になり

はれた!

逃げるぜ!

あ!
こら!!

まて
双子おお!!
万死に
値するぞ!!

ぎゃはは

歌仙君また
晩を上げたね!

この煮物
絶品だぜ!!

だから
かきふらい一個
増やしてくれえ♪

そ...
そうかい

一つくらいなら
おまけして
あげてもいいよ









大丈夫だ…が
少し羽目を
外してしまったな

帰ったら
また鶴丸に
小言言われそうだ



旦那、
手え貸すか？

顔色
悪いぜ？

！



国永の旦那の本体は
「刃」の方だったか？

ああ
そうだ

抜刀して敵を斬れば
自然と高揚感が増し
納刀することで
己を鎮めることが出来るが
「刃」そのものの旦那は
心身共に負担が
大きいだろ？

まあな…



俺一人では
あらぶった感情と熱を
納めることも出来ないからな

鞘である鶴丸がいないと
ままならない

それにどちらかが
負傷すれば離れた場所にいる
半身にも影響が出る
勿論、片方が戦場で折れれば
半身も消えるだろう

これだけは
多少不便だと
感じるな

まあそれも
俺たちの刀生なんだろう

思いつきり
楽しまないと
勿体ないとは
思わないかい？

きっと鶴丸も
同じ考えだぜ
なんせ双子鶴だからな

だったら

旦那たち
らしいな

だろ

ん……

ふっ……

びゅん

しゅん



なあ
鶴丸

うわっ

シよ？

神気の補充は
今の口吸いで
十分だろ

あう

んー

嫌だ…
まだ足りない

君、
戦後は甘えて
くるよなあ

…だろ

ん？





鶴丸の中に
入りたい……

ただでさえ
戦場の空気と血の臭いで
興奮状態になるときに

直に肉と骨を斬った刃を
納刀すれば
影響は諸に受けるわけで……

どちらかが
出陣した後は
人の器を繋げる行為が
当たり前になっていた

え!?







一番……ね

君には慎重さが
足りない！
不用意に突っ込まなければ
こんな大怪我しないだろ！

自分が隻眼だってこと
分かっていないだろ？！

そんなの
分かってる！！

だがそれでは
勝てるもんも勝てやしない！
折れずにこうして
帰還しているんだ！！
それでいいだろう！

だから
何度言えば
分かるんだ！！

良くないから
言ってるんだ
馬鹿か君は？！

馬鹿とは
なんだ？！

俺たちは
他の分霊とは
違うんだぞ！

負傷すれば
こっちまで
影響することを
忘れたのか？！

それを
言うなら君だって
この間中傷で
帰還しただろ！！

あれは
誉が確実と
ふんだから
真剣必殺したんだ！！

藪から棒な
戦法とは違う！！

あ——も——



刀は斬ってこそだろ!!
実際敵を倒してるのは
「刃」である俺!

(バグ)
双子鶴でなければ
こんなこと……



それが君の
本心なのかい?



よく分かった
もう何も
言うまい……

あ……
いや……

国永

早く
治せよ



いつもより
深く冷たく感じるなんて……

こんな驚きは
知りたくなかったぜ……

君も同じだろうか鶴丸……





鶴丸？

ああ
頼む



にしても
鶴丸のやつ
朝餉にも顔
出さなかったな

何処行つてんだ
あいつ

昨日：いや、
ずっと前から
考えてたんだが

出陣前に
鶯丸の所で
茶でも飲んでくるか



鶴丸？

って何
こそこそしてんだ俺は

この刀生も
悪くないんだが

主に
鍊結を願ひ出ようと
思つてな

勿論
消えるのは
俺の方だ

この身を国永に……
あるべき
姿に戻そうかと

!!?

何を言ってるんだ鶴丸?!

俺たちは
ずっと一緒じゃ……

一振の刀に
一人の付喪神

至極当然とは思わないか?

知らない!!
鶴丸がそんな事
考えていたなんて

実戦で必要なのは
敵を斬る為の刃

国永がいなければ
俺は何も出来ん

違う

そんな
つもりで
言ったんじゃない……

顕現時からずっと
考えていたが
国永も同じ考えの
ようだしな

違う!

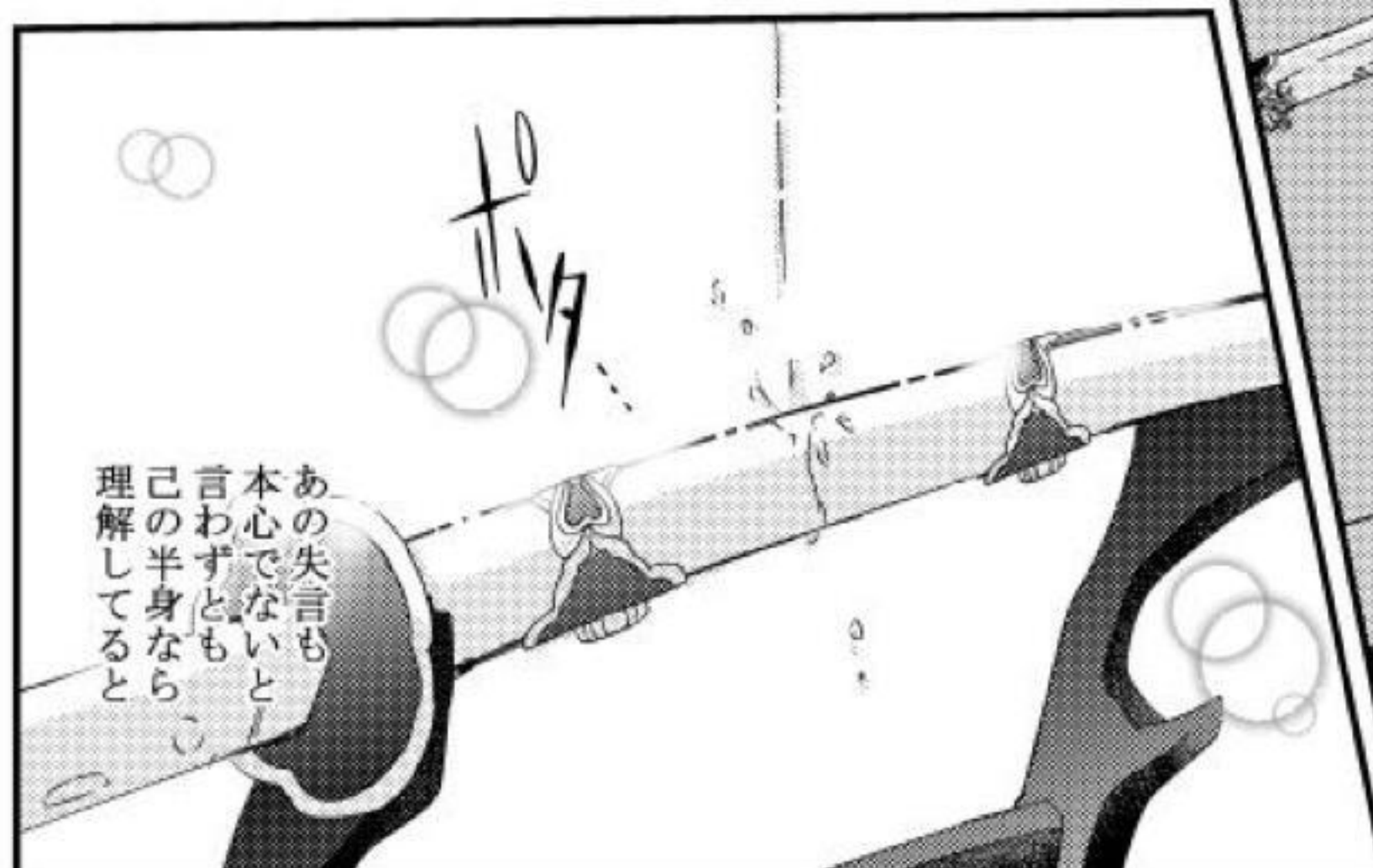
違う!!

一度だって
そんな事
口にしたこと
無いじゃないか!!

二人で一つ
なのに……
双子鶴なのに!!



双子鶴……



君のいない
世界なんて

俺にとっては
有り得ないことなのに……

くそっ……

鶴丸の馬鹿……

そして

もっと
馬鹿は俺の方だ

畜生……



どうした
鶴丸?

え?

あ、
いや何故か
急に涙が...



涙とは悲しい時に
流れるもん
じゃないのか？

その涙
本当にお前のか？



刃と鞘で分かれている
とはいえ元は一振
なにか影響を受けたんじや
ないのか？



さつき柱の影から
白い羽織が見えたぞ

じゃあこれは
国永が……

でも
何故？

それは
聞く相手が
違うだろ



身体的な
影響は表に現れるが
心はそうではない

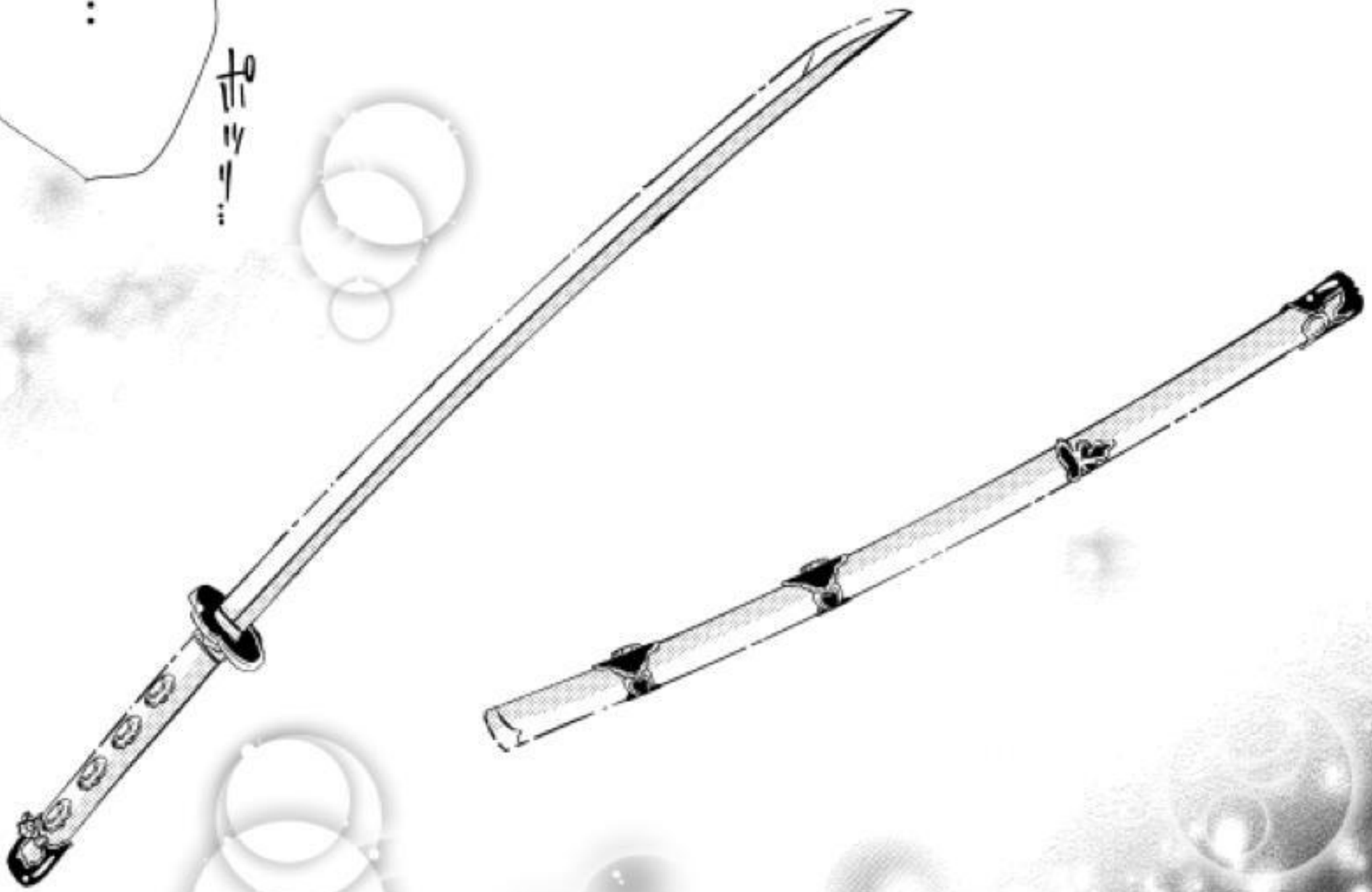
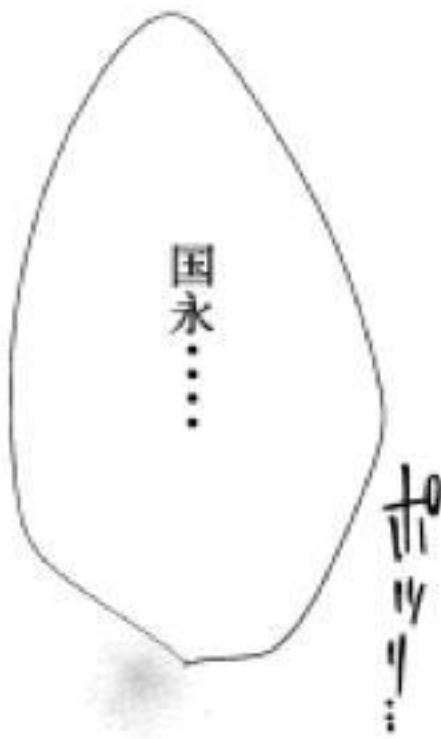
言わなければ
お互いに分らん
想いがあるって事だな



鞘は刃の鋭さを保つ為
また周りを傷付けないように
保管役割がある(ま、偶に戦でも俺は使うが……)

君の為と思った
俺の考えは

君を傷付けていたのか……？







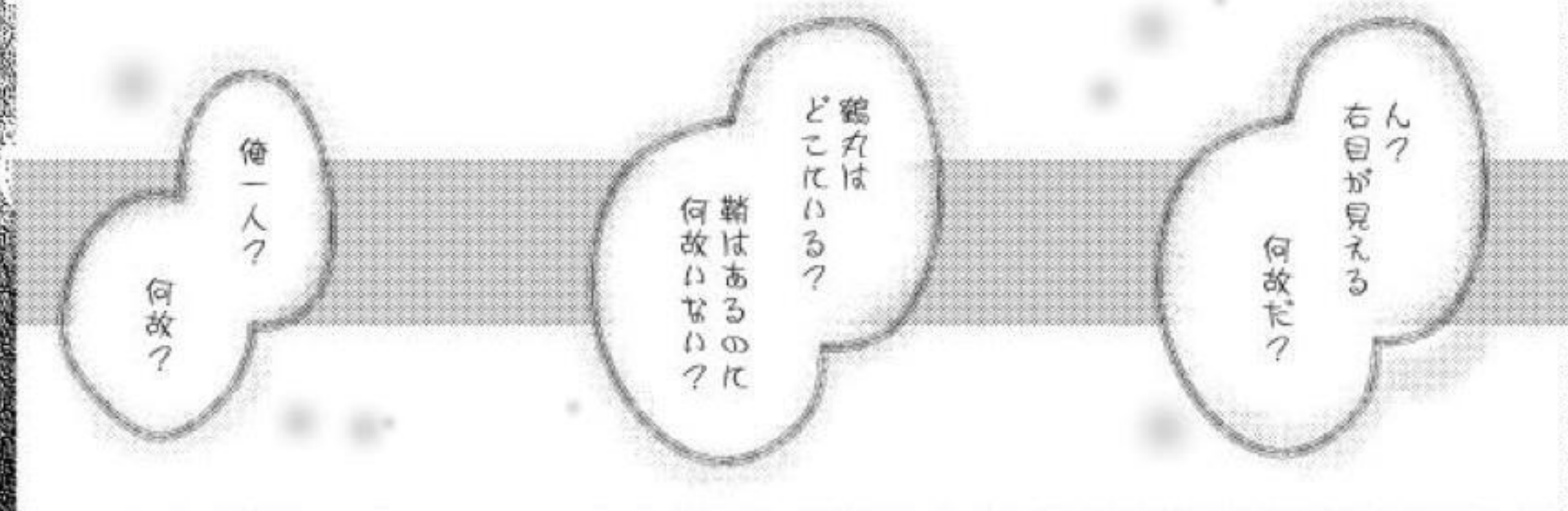


二人で……？



あれ

鶴丸？



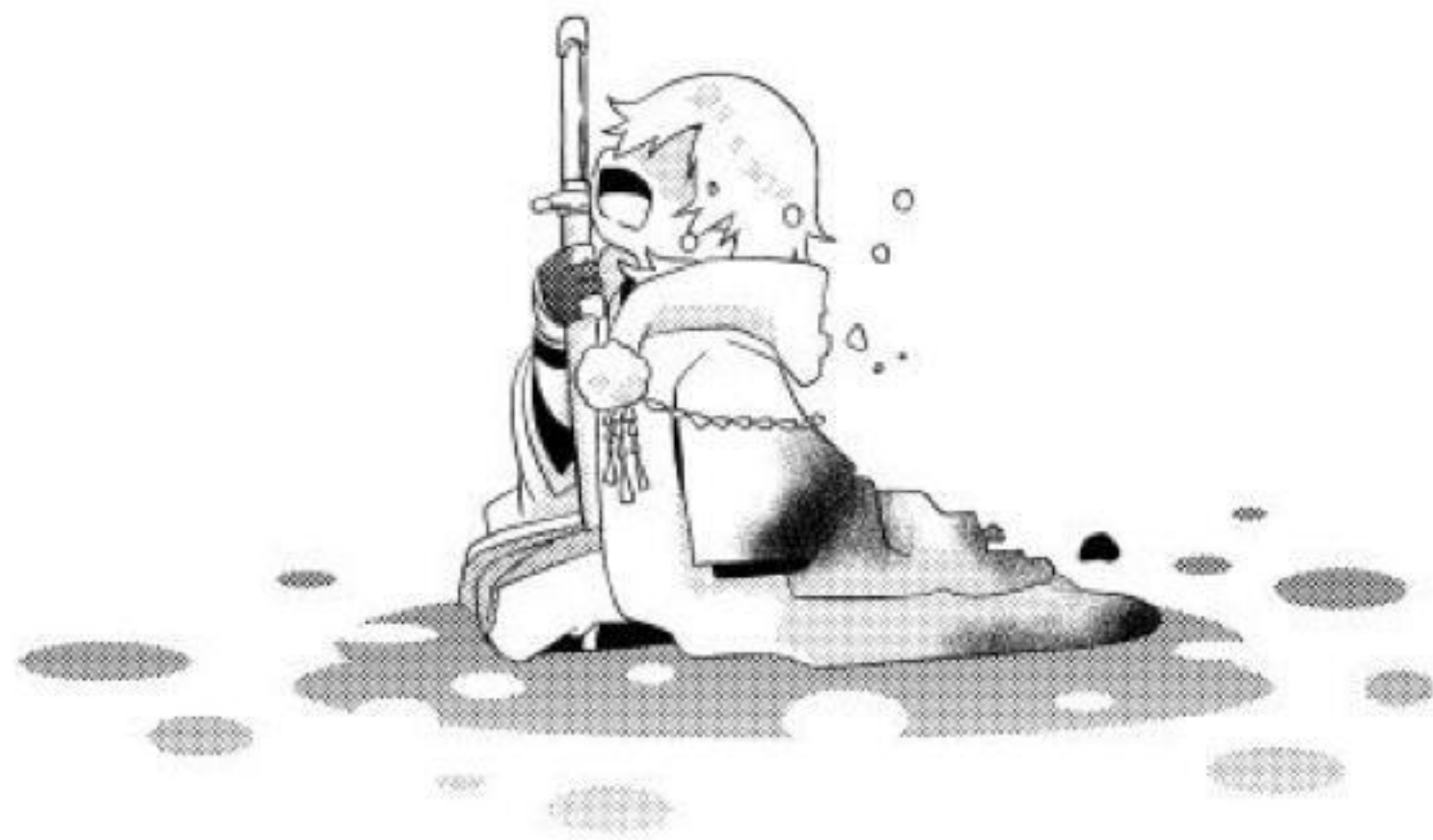
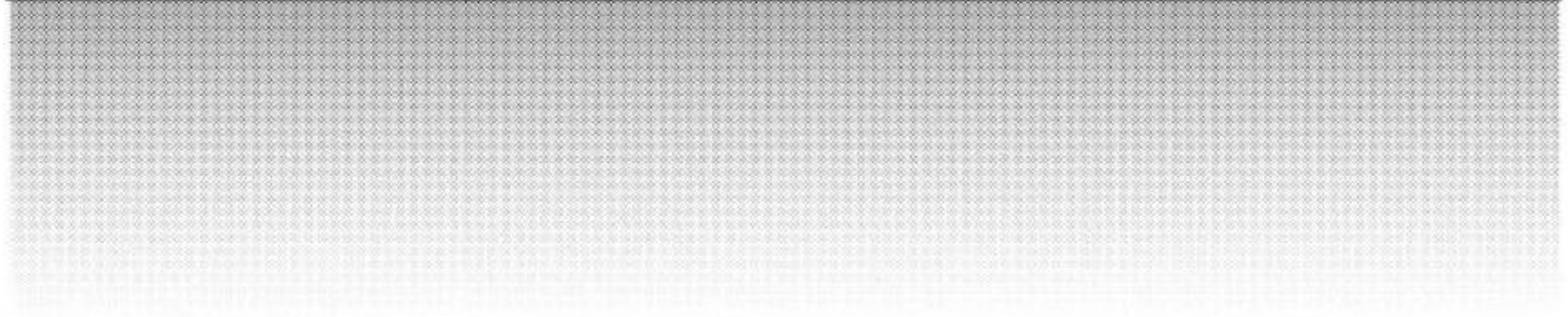
俺一人？
何故？

鶴丸は
どこにいる？
鞘はあるのに
何故いない？

ん？
右目が見える
何故だ？



一振の刀に
一人の
付喪神



……
此処は……

悪い夢でも
見たのかい？

国永……

つ……
鶴丸……

君、
三日間ずっと
眠ってたんだぜ？

また随分と
無茶したな

まさか鞘を置いて
戦に出るとはな
驚きを通り越して
呆れると言うか

君、
聞いてたんだよな
俺の話……

だからわざと鞘を
置いて行ったんだろ？

鶴丸……

お、俺は……

!?

常に共にいるのに
話したい事が山ほどある
君も同じだろう？

だが
その前に

まずは
納めてくれないかい

君の手で

君の帰るべき
唯一無二の場所へさ

鶴丸……

お帰り
国永

折れずに
戻ってきてくれて
嬉しいぜ

それと
すまなかった

君の気持ちを
解ってやれて
なくて

ち…

違…
全部俺が…

俺が君に
酷いことを…





俺には……
「刃」には「鞘」である
君がいないと駄目なんだ!!

うん

また君の
怒りにふれたり
呆れさせることも
あるだろうけど

うん

俺の前から消えるなんて
「鍊結」なんて
二度と口にしないでくれ!!

君じゃないと……

だから

さっ……

ずっと俺の傍に
いてくれ!!
鶴丸!!



国永……

鶴丸……

ああ……

君の気持ち
しかと受け取った





そりや
大事な君を
傷付けるわけに
いかないだろ？

そんな
やわじやねえよ



随分と念入りだな
早く入りたいんじゃないのか？

ん

ん



ん



相変わらず
滾った君の太刀は
鋭いな

ん

ん



本体譲りの
太刀だぜ

鶴丸専用だからな
しっかり味わって
くれよな

ん



おいで
俺の可愛い
俺だけの刃

ああ
そうだな

おはっ♡♡

鞘に
納まり...

ああ!!

あっ...

君の
そういふとこ
好きだぜ





なあ
鶴丸

なんだい
国永？

明日も
シような

その次の日も
また次の日も
ずっと……

はは、
偶には休みも
入れてくれよ

心配するな
君を置いて
何処かへ行ったりしない

俺達は
ずっと一緒だ国永

そう、ずっと……



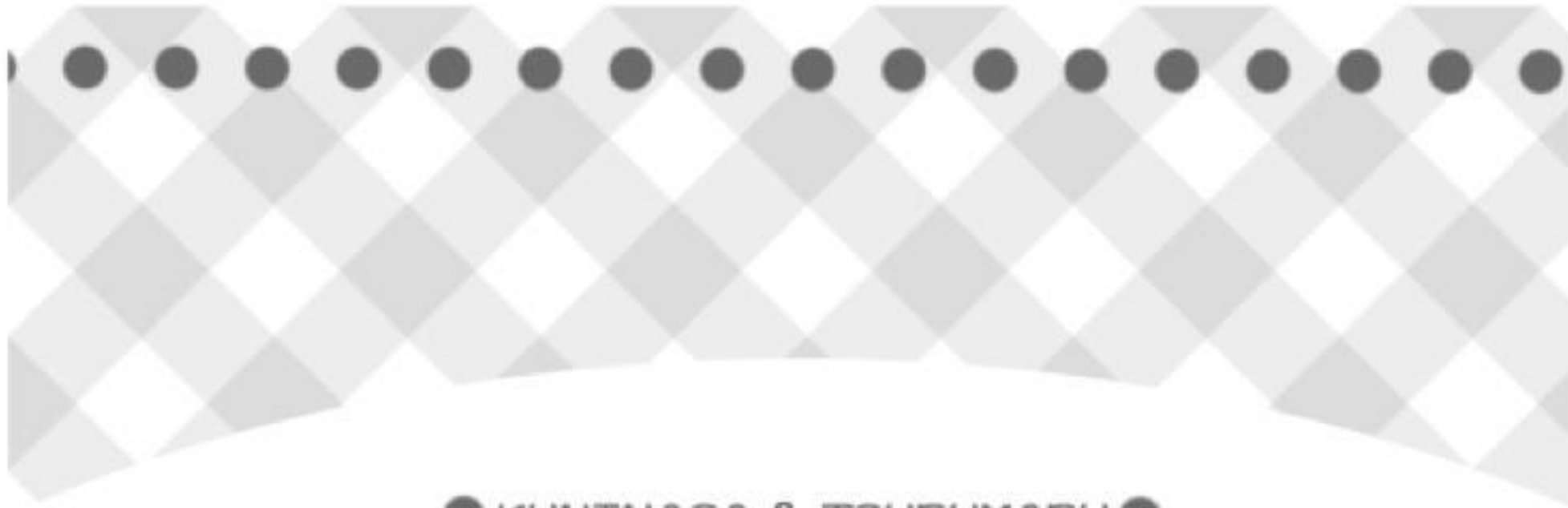
二人で一振
双子鶴
この刀生
共に歩む白き者なり





Kuninaga × Tsurumaru

♥THANK YOU FOR READING♥



● KUNINAGA & TSURUMARU ●

Hutagotsuru



こんにちは。龍崎です。
この度は新刊双子鶴をお手に取って頂き誠に有難うございました。
とうらぶでは今回で6冊目となる同人誌ですが、自分としては珍しく「白白」な鶴鶴を描いてみました。

いつも鶴鶴を描く際個体差(描き分け)を重視しているのですが、読者の方は勿論描いてる自分もどっちがどっち?ってならないように
目や眉の描き方を変えたりしてます。今回は白白で尚且つ「双子感のある鶴鶴」がテーマだったので唯一無二の存在という意味を込めて
オッドアイな鶴鶴にしてみました。
「これ、目の色間違えたら終わるやつ・・・w」と、今回は目のトーンに神経使っていたという裏話(笑)
オッドアイな双子鶴、楽しく描くことが出来ました(^-^)

では、またどこかでお会いしましょう！
最後に、鶴鶴はいいぞ♥有難う御座いました!!!

龍崎 誠

発行：龍の砦(龍崎 誠)
印刷：STARBOOKS様
タイトル：双子鶴
閃華の剣14 2017/12/10
Twitter @mako_tsurutsuru
Pixiv ID 6322509
E-mail makomako.1031.bluedragon@violet.plala.or.jp

禁：ネットオークション・無断転載
乱丁・落丁御座いましたら在庫がある限り
お取替えいたします。

鶴 鶴

TOUKENRANBU
FAN BOOK #6

KUNINAGA TSURUMARU

KUNINAGA TSURUMARU